

ひめだ高松ニュース

日本共産党 和歌山市委員

No.1262

19.9.24

9月定例会議会報告



9月20日(金)一般質問は終わりました。24日(木)から26日(土)まで、日本共産党の議員団の一般質問について報告します。

市営住宅入居時の保証人

9月13日(金)日本共産党の坂口議員が市議は、保証人の確保が困難な市営住宅入居希望者への対応について一般質問しました。坂口議員は、市営住宅に入居している人の連帯保証人を外してほしいと苦情を述べ、新たな保証人が必要だが、

延滞金の免除について

9月10日(火)日本共産党の森下議員が市議は、市民生活と延滞金問題について一般質問しました。

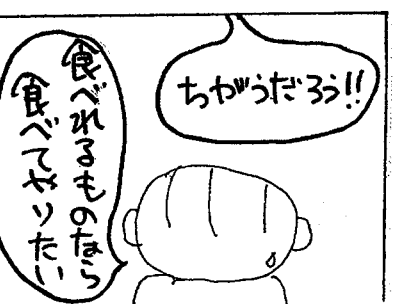
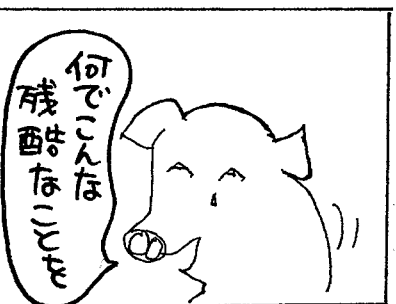
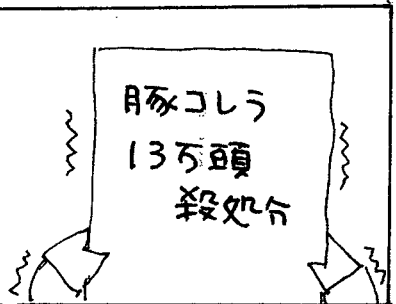
延滞金の年率は2013年12月31日までは14.6%、18年1月1日、19年12月までは8.9%です。

は連帯保証人を置かなければならぬと定められています。坂口議員は、単身高齢者の増加などから居住を取り巻く状況が変化してきたことから2018年3月30日国土交通省が自治体に「公営住宅管理標準条例(案)」について「の改正」を「保証人を確保できないために入居できない」ということがあり、「の通知」た「の指摘」、条例を改正すべきだと提案しました。

フリの人々



<1045>



今週のフリの人々

(その208)

森下議員は、個人事業主が体調を崩し急死、遺族が事務の整理をして固定資産税の発生額を見つけたものの差し押さえるの期日が迫り、滞り金がついてきたケース

や妻が財産をすべて持ち出し行方不明になり子どもが精神不安になり家を離れて療養しているうちに固定資産税を滞納し延滞金がついたものの収入もなくなえな

広がる豚コレラ

農林水産省のホームページでは9月21日現在で、大阪、岐阜、愛知、長野、滋賀、三重、福井、埼玉の1府7県で豚コレラが発生したとのこと。

豚コレラはウイルスの感染による豚とイノシシの病気で、致死性や伝播性が強く家畜の法定伝染病に指定されています。そのため発生した農場において公的防疫措置をとることが定められています。



ひめだ高松

いケースを示し、どちらも延滞金の免除が許されるか、といった入・継続の理由が

加齢による難聴に補聴器を

9月17日(火)日本共産党の中村あきと市議は、聴覚障害について、加齢による難聴について一般質問しました。

中村あきと市議は、聴力の衰えを感じている方から外出を避けるようになった。会話がさかしく、補聴器の

購入を検討しているが高額で悩んでいる。補聴器を貸している方から使っていること聞き購入を検討しようかと

しているなど、補聴器の取得・使用に至らぬことや外出やリモコンカーション不足が認知症の原因となるとの厚生労働省の調査など

を指摘。現在、市の補聴器の購入補助制度は聴覚障害6級以上向けに受けられませんが、他都市で実施して

メガソーラー計画について

9月8日(水)日本共産党の南畑さち代市議は有功地区と楠見地区のメガソーラー計画について一般質問しました。

南畑市議は、2地区の計画についてメガソーラー事業者が市に申請している

いることな障害手帳がなくても補聴器の必要性を医師が診断すれば補助する制度をいけるべきだと提案。

か、楠見地区の計画について、道の総務課は、事業地全体を把握するための地価調査が行われていないこと、地価が釣り面がないか、地下水位は高いのか、低いか、質問しました。

トヨタビッド型兼合のメンバー

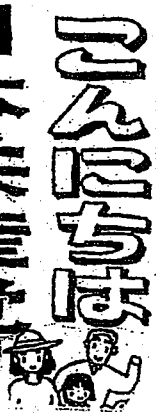
9月16日(木)日本共産党の中村あきと市議は、トヨタビッド型兼合の取り組みについて一般質問しました。

中村市議は、加太、養和佐、小倉地区でのトヨタビッド型兼合の取り組みについて、本格運用がな

まいった加太地区の状況について質問。養和佐、小倉地区での定住実験のメンバーの件について質問しました。

が将来的に必要な「と答えている。入が2割近くになり、事業者は「toyotaビッド型兼合」が大きく報道され、免許証返納がめざすとの取組をみる、利用者は増えるのでは、ないかと指摘。トヨタビッド型兼合の導入が、ライオンは、一便あたり2人以上、稼働率10%と定めて、事業者を支援するべきではないか、制度の周知の改善について質問しました。

日本共産党



米で原水爆禁止世界大会 来月4月に米ニューヨーク市で開かれる核不拡散条約(NPT)再検討会議にあわせて、原水爆禁止世界大会を同市中部マンハッタンで行うこ

となどの国際的な「よびかけ」が、国連の「国際平和デー」の21日、世界で同時に発表されました。日本からは原水爆禁止日本協議会(日本原水協)、原水爆禁止日本国民会議(原水禁)、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)の3団体の代表が参加して加

ス、フランス、インド、フィリピン、マニラなど、の代表が参加を連ねています。「よびかけ」は、1955年以来、日本の原水爆禁止世界大会がかわりてきた「核戦争を阻止し、核兵器の全面禁止・廃絶と被害者の救済と被害の軽減」を目的とした「3原則」